

JSCO DAILY NEWS

日本癌治日報

The Official Daily Newspaper
of the 48th Annual Meeting of
Japan Society of Clinical Oncology



No.0

プレビュー号

JSCO 2010
見所ご紹介

No.1
10/28
(木)

No.2
10/29
(金)

No.3
10/30
(土)



テーマ

「癌を治す、癒す ～Cancer Cure and Care～」

第48回日本癌治療学会学術集会
会長 三木 恒治



本学術集会のテーマは「癌を治す、癒す～Cancer Cure and Care」です。治療成績の向上を目指すだけでなく、緩和医療や社会復帰支援などを含め、患者・家族の心身を癒す医療の実践という意味を込めました。

「治す」という視点からは、最新の分子標的治療薬に関する演題を多数取り上げました。そのセッション数は20以上あり、臨床から基礎までの最新知見を網羅しています。最終日には「Targeting therapy up-date」をテーマに、米国臨床腫瘍学会（ASCO）と本学術集会のジョイント・シンポジウムを予定しています。一方、「癒す」

の視点からは、重要性が増している緩和ケアや支持療法を学ぶ機会を設けるとともに、より良い患者支援システムの構築とがん難民を救うために我々が何をすべきかを議論し、提言をまとめる予定です。

今回のトピックとして、例年「見にくい」と不評だった抄録集に“Program by Track”という工夫を加えました。領域別にセッション演題と開始時間、会場が一目でわかるもので、本学術集会としては初の試みです。臓器別Indexと、患者支援など領域横断的Indexを辿りながら、日々取り組んでいる領域に限らず、「治す」「癒す」の様々な知見に触れていただきたいと思います。



第48回日本癌治療学会 によせて

一般社団法人日本癌治療学会
理事長

前原 喜彦 氏

(九州大学大学院医学研究院消化器・
総合外科学分野教授)

がん治療に関わる公益団体の社会的責務として、我々には、がん対策基本法に盛り込まれた内容の具体化へ向けての行動が求められています。

今年度からスタートする具体策として、会員の自主的臨床試験を学会が支援していく仕組み作りや、医療者と市民の情報格差の解消とがん医療の均てん化を目指し、学術集会以外に市民公開講座や医療者向け教育セミナーの開催を予定しています。基本法施行から3年、ようやく、がん医療変革への機が熟してきたようです。

認知度の向上と
サバイバーの
サポートを目的に
活動を開始

精巣腫瘍の
患者会
ジェイ・タッグ
「J-TAG」

本学術集会の最終日に精巣腫瘍の患者会「Japanese association of Testicular cancer Assist Group (通称: J-TAG [ジェイ・タッグ])」が創設される運びとなった。精巣腫瘍の経験者でJ-TAGの代表に就任される改發氏は、「まずは、患者さんとその家族へのピアサポート(患者同志の情報提供やメンタルケア)、精巣腫瘍の情報普及と啓発から取り組み、将来的には、精子保存システムの普及・確立や副作用による弊害の緩和、サバイバーの就労支援を行いたい」と言う。J-TAGのキックオフ・イベントは、10月30日(土)「市民公開講座 in 京都」終了後、18時からグランドプリンスホテル京都:地下1階ロースタイルにて開催される。

新たな取り組み、続々と。

第48回日本癌治療学会学術集会では、昨年に引き続き、参加者を支援する様々な取り組みや工夫がなされており、参加者が自分で考え、自分で作りあげていける学会をめざしている。

ここでは、特に今回の学会で注目したい新たな取り組みを2件、紹介する。

●シアターディスカッション（10月29日金曜日 17時～ 第10会場スワン）

映画「希望のちから（Living Proof）」を視聴し、臨床試験が医療者と患者、アドボカシー・グループの協業により、いかに成し遂げられているのかを、米国におけるトラスツマブの開発の経緯を題材に、今後日本でどのような取り組みができるかをディスカッションする。

● Program by Track

プログラムを分野ごとに並び替えた冊子「Program by Track」が作成されている。各演題が探しやすく、聴講スケジュールが立てやすい。「Program by Track」は第48回日本癌治療学会学術集会ホームページ（http://www.congre.co.jp/jSCO2010/pdf/jSCO48_ProgrambyTrack.pdf）からもダウンロード可能。

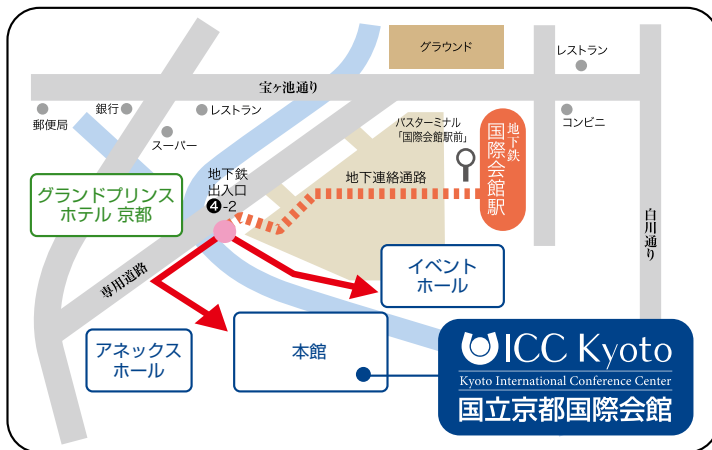
JSCO DAILY NEWS
The Official Daily Newspaper of the 48th Annual Meeting of Japan Society of Clinical Oncology

No.1 10/28 (木)
No.2 10/29 (金)
No.3 10/30 (土)

会場メインホール付近
および展示ブースなどで
無料配布

お勧めセッションや注目演題の紹介、インタビューやコラムのほか、企業展示案内などの情報も満載です。

●会場アクセス



会場案内

【国立京都国際会館】

- ・本館：口演会場、学術セミナー受付①、ホスピタリティルーム、おもてなしコーナー、託児ルーム
- ・アネックス：参加受付、クローク、口演会場
- ・イベントホール：機器展示、HyPos データ閲覧、最優秀演題・優秀演題講演
- ・特設テント：ポスター発表、最優秀演題・優秀演題講演の大型モニターによるデータ放映
- 【グランドプリンスホテル京都】：参加受付、口演会場、学術セミナー受付②、クローク

アクセス

【地下鉄】「京都駅」から「国際会館駅」まで地下鉄で20分

「国際会議駅」（出口4-2）から徒歩5分

【タクシー】JR 京都駅から約30分

※駐車場は特設テント設営のため、駐車スペースが少なくなっておりますので、車での来場はなるべくお控えください。